



議 委 第 1 1 2 号  
平成 26 年 2 月 28 日

南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

産業建設委員長 湯田 哲



## 委員会調査報告書

本委員会の所管事務調査について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第 7 7 条の規定により報告します。

- 1 調査事件 福島県建設業協会山口支部との懇談会  
①現在の仕事の状況と今後の見通しについて  
②南会津町議会に対する建設業政策への要望について  
③その他
- 2 調査の経過 ・平成25年11月19日(木)  
・南郷総合支所 2階会議室  
・参加者  
委員：湯田哲 山内政 渡部忠雄 高野精一 楠正次  
事務局 鈴木雄蔵  
協会：支部長 酒井秀明  
会員一五十嵐洋光 近藤大樹 近藤利男 新井博文  
芳賀博之 馬場洋平

3 調査結果

(1) あいさつ

- ・湯田哲委員長
- ・建設業協会山口支部長

(2) 懇 談

①現在の仕事の状況と今後の見通しについて

(協会) 先日、農林事務所にうかがったところ、来年の一般予算を見ると復興の方にまわって、予算がかなり減るという話を聞きました。現在、災害等で仕事はあります。今の現場が忙しいので、不調になることもあります。各会社とも繰越として、来年くらいまで仕事は何とかありますが、一般工事の仕事が無いと厳しい状態です。今後はどうなりますか。

(委員) 「2年前からの復旧工事が、来年までであるがその先は無いことが心配だ」と言うことですか。

(協会) 若干少しニュアンスが違います。私も農林事務所のヒアリングにに行ってきました。平成26年度の南会津の予算はゼロに等しいと言われました。言われたのは10億ということで、10億ではゼロに等しい。浜通りの復興へまわる、南会津への予算は減らす、厳しいことを言われてきました。

(委員) 国への要望へ行った時など、予算が復興にだけまわるようなことはない、と聞いていました。県の土木部長の話では、復興と一般工事は別枠でやっているのです。そういうことは決してないと聞いていましたので。

(委員) 本町にも老朽化した橋がかなりの数あるので、その工事を公共事業として担保されればよいのですが。

(協会) 私たち工事する作業員の人手不足もあります。去年来た人が今年こなかったり、人手不足は来年以降も続き厳しい状態です。しかし私たちの人手不足ばかりじゃなくて発注者側の人手不足もある。1億から2億の発注予定がホームページにのり、私たちはある程度準備して待っているが、6月のが今なっても出ない、半分以上遊ばせるようなことがある。これは結局発注者側の人手不足で、発注したくても発注できない事態が起きている。あくまでも予定なので強く言えない。

(協会) 災害復旧の仕事があるから、町発注の工事がとれない場合があります。その工事の工期が他の工事の工期12月と重なる。工期が3月末までならできるのですが、そのうち、予算が引き上げられてしまい、内心、冷たいなと思いました。

(協会) 緊急の工事は別として、工期をある程度自由に決めることができれば良いのですが。工期を自由にできるフレックス工期を提案したい。

(協会) 県の発注では、入札しなかった場合、理由などを必ず聞いてきます。ぜひ町の発注でも県と同じようにその入札しなかった理由を聞いて欲しい。

## ②南会津町議会に対する建設業政策への要望について、その他

(協会) 除雪について只見町では、最低保障として最低賃金10万として、やっているわけですから、本町でもできるのではないのか。

(協会) 何も町は、除雪ローダーを買うことはないのでは、12月から3月までの間リースにすべきではないのか。

(協会) 以前からも何度も陳情要望していることですが、町道の除雪作業車を2人乗車させ、安全な除雪作業ができないか。運転手が1人であることはとにかく危険で、心筋梗塞など病気で倒れたら命は救えない、2人であれば片方の人が連絡できたりして救えるんです。

(協会) 役場内での各課を超えた連携がとれていないように感じるのですが。町の発注の工事をしていて突然教育委員会が出てきたり、かえって難しくしているように感じます。

各課の連携していればそんな事にはならないのではないのか。

(協会) 下水管の汚水から出たメタンガスによって、管の側面が破損しはじめている。その調査を町ではしているのか。破損が大きくなる前に、修繕すべきではありませんか。

(協会) 地元高校生への企業説明会が7月にあったが、観光ブースには人が集まっていた。建設業からはきていませんでしたが。

(協会) 田島高校から2人の面接希望がありました。「ありがとうございます」と受けましたが、その説明会の後だか、すぐにあやまりにきました(なくなった)2、3年でやめてしまう。今はありませんが、二本松に土木作業員の研修所(研修施設)があった。

新卒者は、入社して現場へ入るのではなく、そこで研修を受けてから現場に入った。現在でも会社にも、そこの(建設技術会館)研修センター(建設業協会で作った6ヶ月間全寮制の研修センター)を出た人間は今でも働いています。今の若者達は入社しても、土木作業現場で寒い中で作業するようになると、やめてしまう、長続きしない。後継者はなかなかいません。かえって、他の会社を退職したような

人、妻帯者のほうが、長続きするし、そういう人間を採用するようにしています。若い人が土木建設業に就職してもらえるように仕事の開始時間も、8時30分にするなど、働く環境を改善する必要があるのかもしれない。

(協会) IT企業の誘致の話がありましたが、他からのくる企業への補助だけでなく、地元企業に対しても、そういう対策をしてほしい。

(協会) 若者が夢をもてるような、好きなことができるような、起業できる環境づくり、対策ができませんか。

(協会) 住宅について、今ある住宅をもっと利用できるようにできないか。

(委員) トマト新規栽培者に対する住宅を2世帯、新しくつくる予定しています。

(協会) 新しくつくるのもいいだろうが、今ある住宅を利用しやすい若者達がのこののではないのか。教員住宅も8世帯のうち、1世帯だけ入っていて、7世帯空いている。本当に入りたい人が、入れない現状です。入居条件のハードルが高い。町営住宅、県営住宅などの利用できるように考えて欲しい。

入居できれば、若い人も含め、他の地域の人でも、そこに入居できればここでの土木作業に従事できるのではないのか。人手不足の解消にもなるのではないのか。

(委員) 労務単価のアップがあったわけだが、実際の社員まで反映はどうですか。

(協会) 労賃アップについて 40パーセントアップしたからと言って、賃金に反映させるのは難しい。それに関しての社会保険とかいろいろありますし、先に「歩掛り」を上げる必要があるのではないか。私どもの労賃アップは考えていますが、各社とも大きなアップは難しい。

#### 【まとめ】

■一般工事の仕事が無いと厳しい状態です。今後の状況は。

■フレックス工期を考えて欲しい。

■県と同じように入札しなかった理由を聞いて欲しい。

■町は除雪車を購入するのではなくリースにしてはどうか。

■除雪作業時に2人乗車させ、安全な除雪作業ができないか。

■下水管のガスによる破損調査する必要があるのではないか。

■地元の人が起業できるような環境づくりをしてほしい。

■空いている教職員住宅等をもっと利用できるようにできないか。